

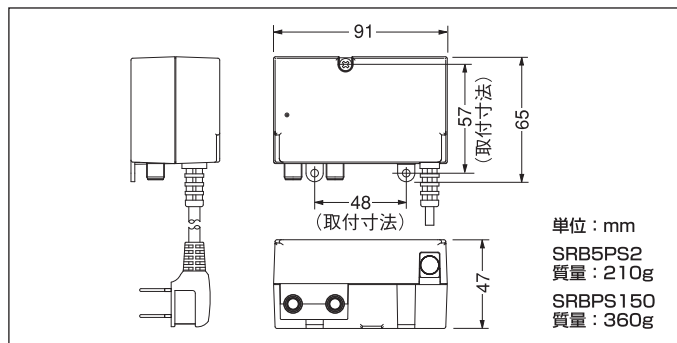
# 日本アンテナ

## 取扱説明書・施工説明書

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

### 取扱説明書

#### 外観および寸法図



#### 対応機種

SRBPS150	SRB3020D	SRB30D
	SRB3020DG	SRB30DG
SRB5PS2	SRB3020SD	SRB30SD
	SRB3020SDG	SRB30SDG

# 電源供給器

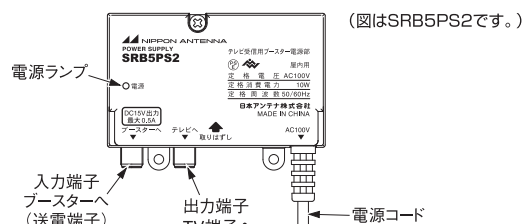
TV受信用ブースター専用

Model **SRB5PS2**  
**SRBPS150**

#### 特長

1. 本器はSRBシリーズ専用の電源供給器です。
2. ブースターへDC15Vを供給できます。
3. 本器は屋内専用ですが対応するブースターへ取付ければ、屋外にも使用できます。
4. 付属の木ねじを使用して簡単に、しかも確実に取付けることができます。

#### 各部の名称



#### 取扱上の注意

電気工事には専門の資格が必要です。  
取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

#### メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

## 施工説明書

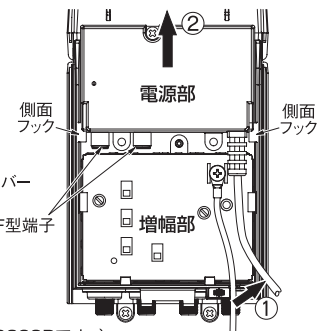
#### 設置場所・条件・電源分離方法

- 高温(40℃以上)の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 増幅器は発熱しますので、熱のこもる場所はさけてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- 本体や電源部はメンテナンスに容易な目の届く場所に設置してください。

#### ■ ケースの開けかた

カバーを上側へ持ち上げると開きます。カバーは本体に対して直角程度まで開くとストッパーで固定されます。A、B操作が完了したらカバーをしっかり開けてください。

#### ■ 電源部の取りはずしかた



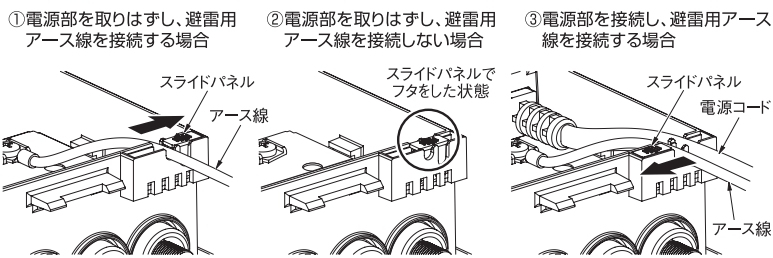
- ① 電源コードを本体ケースのミゾからはずします。
- ② 電源部の中央に指をかけ、上に押し上げます。
- ③ 本体の側面フックと、電源のF型端子が増幅部からはずれたら、電源部を手前に抜き出します。

#### ポイント

- 電源部・増幅部をはずした後、再び収納する場合は、はずした逆の手順で取付けてください。
- 電源部・増幅部を取りはずす際、むりに手前に引かず、必ず上にスライドさせてから手前に抜き出してください。
- 操作後、カバーは確実に閉めてください。カバーを確実に閉めることにより、電源部と増幅部が確実に合体し、固定されます。
- 電源コードとアース線は必ず本体ケースのミゾに入れてください。カバーが閉まりません。

#### ■ スライドパネルの操作

● 電源部を取りはずした後は、必ず本体電源コード用のミゾにスライドパネルを移動してください。雨やホコリの浸入をふせぎます。



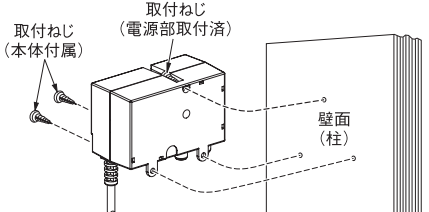
**警告** 電源部を取りはずす場合または再び本体に収納する場合は、必ずAC100V電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

#### ■ 電源部の取付かた

(電源部を本体ケースから取りはずした場合) 取付ねじ(本体付属)

#### ◎ 壁面取付の場合

電源部セットの取付ねじ2本と本体ケースに収納された取付ねじ2本でしっかりと固定してください。



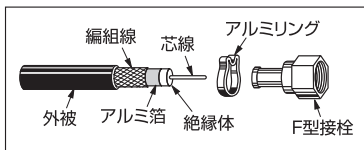
#### 標準性能表

項目	型名	
	SRB5PS2	SRBPS150
周波数帯域 (MHz)	10~770	770~2610
挿入損失 (dB)	1.5以下	2.5以下
電圧定在波比	1.5以下	2.5以下
電圧 (V/W)	AC100 (50/60Hz) / 10	AC100 (50/60Hz) / 5
重畳電圧 (V/A)	DC15 / 最大0.5	DC15 / 最大0.15
使用温度範囲 (℃)	-20~+50 (本体周囲温度)	

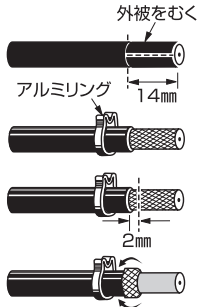
# 同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法 (別売品)

◆用意するもの カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

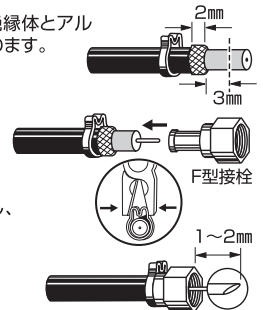
## ■各部の名称



- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- 4 編組線をめくりあげます。



- 5 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。
- 6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。
- 7 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

## ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかを確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

**注意** 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m (約20kgf・cm)

## 安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	絵表示の例		△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物理的損害の発生が想定される内容を示しています。			⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
				●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。	

## 警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。
- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 万一、本器を落としたり、破損した場合は、機器本体の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。
- 本器は主電源コンセントの近くに設置し、異常があった場合など、すぐに主電源コンセントより電源プラグをはずせるように設置してください。
- 本器の上に、火のついたローソクなどの裸火を置かないでください。機器の故障につながるだけでなく、火災の原因となります。
- 電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください。
- 本器の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。また、本品の上に小さな金属物(クギ、針、ヘアピン、クリップピンなど)を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
- 本器の上面カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。)

## 注意

- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 十分な通気のため、本機の周辺は10cm以上空間を確保してください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード(アンテナ線、機器間の接続コードなど)をはずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お客様窓口

**0570-091039**

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は (03)3893-5243

## 日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)  
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様・外観の一部を予告なく変更することがあります。  
7109504 平成28年2月